



## メディアパスの分析

このセクションでは、次の点について説明します。

- [メディアパスの分析 \(1 ページ\)](#)

## メディアパスの分析

この章では、メディアパスの分析のさまざまな分析方法について説明します。

### VSAA を使用したメディアパスの分析

Video SLA Assessment Agent (VSAA) は、Cisco Prime Collaboration Assurance で、Cisco Video、テレプレゼンス、またはIPビデオ監視 (IPVS) システムとサイトの拡張機能を導入またはアップグレードする前に、ネットワークパス特性 (つまり、遅延、ジッタ、パケットロス) を提供するために使用されます。

始める前に



(注) Cisco Prime Collaboration Assurance を MSP モードで導入した場合、メディアパス分析は NAT 環境ではサポートされません。

VSA エージェントが 2 つのエンドポイントで動作中であり、NTP サーバに同期されていることを確認します。VSA エージェントソフトウェアを、Cisco.com にある Cisco Prime Collaboration Assurance [ソフトウェアダウンロード](#) サイトからダウンロードすることができます。インストールガイドラインについては、「[Video SLA Assessment Agent 3.1 インストールガイド](#)」を参照してください。

ステップ 1 選択 [診断 (Diagnose)] > [Media Path Analyzer]。

ステップ 2 必要なアセスメントの詳細を入力します。

ステップ 3 [表 1: プロファイルの詳細](#)を入力します。

ステップ 4 [Start] をクリックします。

表 1: プロファイルの詳細

フィールド	説明
Profile	検査するプロファイル設定を表示します。送信される RTP パケットは、デバイスタイプに基づいたものになります。
Count	ネットワークに追加するデバイスまたはストリームの数。最大 5 個のデバイスを追加できます。
DSCP	DSCP 値は、トラフィック品質のプライオリティを示します。良質のビデオストリーミングを確保できるよう、最も高品質の DSCP 値が選択されます。

CTS 500 と 1000 を導入するには CTS1000 プロファイルを使用し、CTS 3000 を導入するには CTS3000 プロファイルを使用する必要があります。プロファイルを作成、編集、および削除できます。

## VSA エージェントの検査結果

個々のストリームについて、エンドポイント間で選択した方向のトポロジ（レイヤ 2 とレイヤ 3）を [トラブルシューティング (Troubleshooting)] タブで表示できます。

[ログ (Log)] タブを使用して、上位レベルおよび個別ストリームに対するトラブルシューティングワークフローのステータスを詳しく表示することができます。 [VSA エージェントの検査結果 (VSA Agent Assessment Result)] では、[パス評価 (Path Assessment)] タブでパスの詳細を確認することもできます。テスト可能デバイス、テスト不可能デバイス、パケット損失のしきい値に違反するデバイス、ジッターのしきい値に違反するデバイス、DSCP に違反するデバイスで、トラブルシューティングの概要情報を表示できます。

トラブルシューティングで判別されたデバイスに対して、一連のテストが実行されます。Path Assessment テストを開始するには、および会議のプロアクティブなトラブルシューティングが完了した後に、[Path Assessment テスト (Path Assessment Tests)] をクリックします。

[テスト結果 (Test Result)] タブには、次のグラフが表示されます。これらのチャートには、最後の 20 件のテスト結果のみが表示されます。

テストの要約

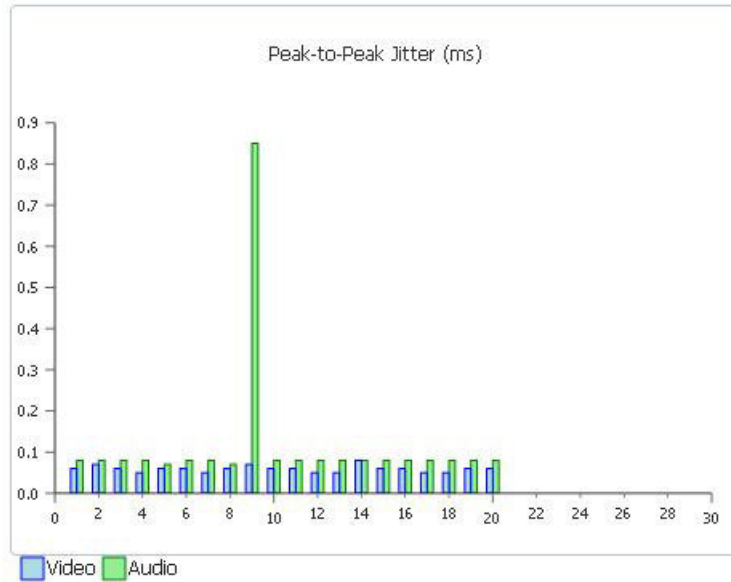
図 1: テストの要約

Statistics	Video Result	Audio Result
DSCP	af42(36)	af42(36)
Profile	CTS-1000	CTS-1000
Max Rate	30.02 frames/s	50.04 packets/s
Total Packets Recieved	439079 packets	44627 packets
Total Packet loss due to Network Drops	0 packets	0 packets
Maximum Seconds of Concealment	0.0 s	0.0 s
Maximum Severe Seconds of Concealment	0.0 s	0.0 s
Maximum Packet Loss	0.0 %	0.0 %
Maximum Jitter	0.01 ms	0.03 ms
Maximum Peak-to-Peak jitter	0.81 ms	0.85 ms
Maximum Peak Playout Delay	0.87 ms	0.83 ms
Maximum Latency	2.32 ms	2.31 ms
Maximum Frame Jitter Average	0.01 ms	0.0 ms
Time Obtained	2012-May-03 21:47:52 PDT	2012-May-03 21:47:52 PDT

902291

ピークツーピーク ジッター

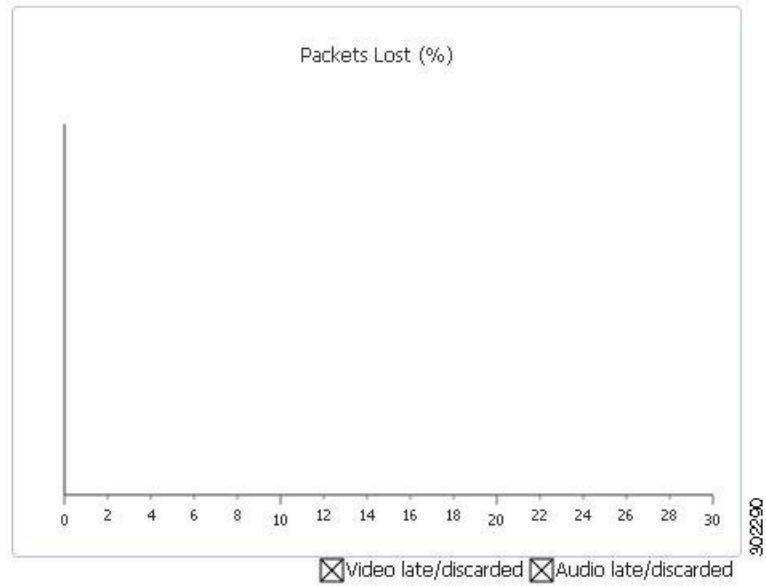
図 2: ピークツーピーク ジッター グラフ



902291

## パケットロス (Packets Lost)

図 3:パケットロスグラフ



## 遅延

図 4:遅延グラフ

